令和３年度教育課程実践検証協力校事業学校調書用紙（「E-Assessmentに関わるもの」Ａ枠）

―中学校―

＊協力いただける必須対象教科（「国語」「数学」「理科」

「外国語」）を御記入ください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 都道府県・指定都市番号 |  | 都道府県・指定都市名 | |  |
|
| 校種・中学校 | | | 必須対象教科： | |

【１．学校の概要】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ふ り が な  学　校　名 | 立　　　　　　　　　中学校 | | | | |  |  |
| 所　在　地 | 〒    電話　　　　　　　　　FAX　　　　　　　e-mail | | | | | | |
| （R3.4.1見込み） | １年 | ２年 | ３年 | 計 | （R3.4.1見込み）  　　　教員数　　　名  ［うち，協力いただける教科等の教員数］  ※特別支援学級在籍の生徒を含んだ数をご記入ください。  　　名 | | |
| 学 級 数 |  |  |  |  |
| 生 徒 数 |  |  |  |  |
| 特記事項 |  | | | | | | |

**２．令和３年度に協力できる範囲について**

※オンライン学習システム（CBTシステム）で使用することを想定して，日々の学習で活用できる問題を作成・開発していただく際の具体的な学年・教科等をお知らせください。

※全国学力・学習状況調査の対象教科を含むことを必須としておりますが，「対象教科以外の教科」及び「実施する学年」等の実施規模については，協力いただく学校に御判断いただきます。現時点で，令和３年度に協力いただける範囲について御記入ください。（必須対象教科のみの場合は，その旨を御記入ください。）

**３．本事業協力のための校内体制について**

※問題の作成・開発，学習状況の把握，その効果の確認方法等を含めた令和３年度の校内体制（加配

教員を含む）について御記入ください。また，問題の作成・開発の中心を担う方について，例の●

のように具体的に御記入ください。（当該教員が異動する可能性もありますが，現時点の情報を御記入ください。）

例：（必須対象教科が「国語科」で実施，その他の教科として「社会科」でも実施，

「国語科」「社会科」ともに全学年で実施の場合）

教育課程実践検証協力校実行委員会の創設（下記内容を，組織図等で示すことも可）

委員長　　校長

外部窓口　教頭

構成委員　問題作成・開発･･･◎国語科主任，社会科主任，国語科担当，社会科担当，加配教

員，教務主任

学習状況の把握･･･◎当該学年教科担当，加配教員

　　　　　　　確認及び検証･･･◎教務主任，国語科主任，（国立教育政策研究所担当調査官）

　　●問題作成・開発の中心を担う国語科主任は，市教育委員会が主催する当該教科等の研修に

数多く参加している。

※その他の例として「教育委員会が定めた国語科の指導教員」等を御記入ください。

**４．学校のICT環境等について**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 調査項目 | 現状 |
| 学校  の  I  C  T環境等 | ネットワーク環境（普通教室における無線LANの整備状況） | ※学校のR３年度４月時点のネットワーク環境，特に普通教室における無線LANの整備状況について，記述してください。  ※職員のR2年度ICT研修について、記述してください。 |
| １人１台端末環境 | ※R３年度４月時点の環境について，取り組んでいただく学年における１人１台環境が整っているかどうか，整備状況を記述してください。 |

**５．学校のICT活用状況等について**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 調査項目 | 現状 |
| 学校の  I  C  T  活用状況  等 | 職員のICT研修状況 | ※教員のICT活用指導力の状況の各項目（下記参照）に関する研修を令和２年度中に受講した教員数（校内研修を含む）を記述してください。（令和２年３月末日までの間に受講予定の教員を含む）  ※１人の教員が複数の研修を受講している場合も，「１人」とカウントしてください。（実人数）  ※令和２年度に受講予定であった研修が中止になった場合も，受講したものとみなし「１人」とカウントしてください。 |
| 必須対象教科の学習活動におけるICT活用状況 | ※必須対象教科のR2年度の状況について，授業時のどのような場面で活用しているかを具体的に記述してください。 |
| 生徒のICTの基本的な操作の習得状況 | ※生徒のR2年度の状況について，どの程度の操作ができるか等，分かる範囲で記述してください。可能であれば，取り組んでいただく学年ごとの状況を記述してください。  例：第１，２，３学年の生徒の多くは，PC等の基本的な操作（文字や数字の入力が可能）を習得している。 |

［教員のICT活用指導力の状況の各項目］ ※「令和元年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」引用

・教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力

・授業にICTを活用して指導する能力

　・児童生徒のICT活用を指導する能力

　・情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力

**６．全国学力・学習状況調査の結果を受けた授業改善の取組について**

※令和２年度については全国学力・学習状況調査を実施しないこととしたことを踏まえ，「令和２年度全国学力・学習状況調査 調査問題活用の参考資料」を用いた授業の取組の様子を御記入いただくか，若しくは，令和元年度以前の調査結果を受けた授業改善の取組状況を御記入ください。

**７．過去の研究等の実績**

※平成30年度以降，本事業の他，国立教育政策研究所や教育委員会等の事業の指定を受けている場合（令和３年度の応募予定も含む）は御記入ください。　　　（例）○○事業（国立教育政策研究所，令和元・２年度指定（国語））

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　△△事業（□□教育委員会，令和３年度応募予定）

※記載する内容がない場合は「特になし」と御記入ください。

※青文字の注釈は消して，御記入ください。

※Ａ４片面２枚以内厳守でお願いいたします。

※本用紙をもとに，当該教科を担当する当研究所調査官が審査後，「教育課程実践検証協力校事業に関する運営委員会」

の承諾を経て，学校を決定いたします。